

【平成 25 年度・前期学期・ミクロ経済学 I・課題 4】

☆ 締め切り：平成 25 年 6 月 18 日講義開始時

【問 1】次のように 2 種類の需要関数が与えられた時、後の設問に答えなさい。

需要関数 A : $Q_d = 48 - 4P$

需要関数 B : $Q_d = \frac{1}{P}$

- (1) それぞれの需要関数を経済学の慣行に従って図に描きなさい。
- (2) それぞれの需要関数上の点で $P=10$ 、 $P=12$ の時の点の需要の価格弾力性を求めなさい。
- (3) (2)で求めた、需要の価格弾力性をもとに、それぞれの需要のそれぞれの点で、需要が価格弾力的であるか、非弾力的であるか判定しなさい。

【問 2】次のように需要・供給関数が定められるとき、(1)～(7)に答えなさい。

供給 : $Q_s = 3 + P$

需要 : $Q_d = 18 - 0.6P$

- (1) この需要・供給で決まる市場均衡を求めなさい。
- (2) この今、供給が $Q_s = 4 + P$ シフトしたとき、新しい市場均衡を求めなさい。
- (3) (1)と(2)で求められた二つの均衡間の、需要の弾力性を求めなさい。需要は価格弾力的かそれとも価格非弾力的か？

【問 3】次の場合の図を描きなさい。

- (1) 需要関数が、完全に価格非弾力的で、供給が通常の傾きをもつ場合。
- (2) 需要関数が、完全に価格弾力的で、供給が通常の傾きをもつ場合。
- (3) 供給関数が、完全に価格非弾力的で、需要が通常の傾きをもつ場合。
- (4) 供給関数が、完全に価格弾力的で、需要が通常の傾きをもつ場合。